

第30期（2014年12月期） 第3四半期
決算補足説明資料

2014年11月5日
サイバネットシステム株式会社

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

略式記号について

13.12

2013年 12 月期 通期

14.12/3Q

2014年 12 月期 第3四半期期間

14.12/3Q累計

2014年 12 月期 第3四半期累計期間

14.12E

2014年 12 月期 通期予想

調整後 13.12/3Q

2013年 12 月期を12ヶ月に調整した第3四半期期間

調整後 13.12/3Q累計

2013年 12 月期を12ヶ月に調整した第3四半期累計期間

調整後 13.12

2013年 12 月期を12ヶ月に調整した通期

※ 「調整後 13.12」については7ページ及び24ページに注記しております。

※ 「13年1月～9月実績」は、3月決算であったサイバネットシステムは2013年1月～9月、12月決算の海外子会社は2012年10月～2013年6月を連結対象期間とした数値となります。

◆ 2014年12月期 第3四半期決算の概況

[連結]業績の概況	8
[連結]経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)	9
[連結]貸借対照表	10
[連結]キャッシュ・フロー	11
[連結]四半期売上高の推移	12
[連結]事業別売上高の増減要因(調整後前年同期比較)	13
[連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	16
[個別]業種別類売上高	17
[個別]ライセンス契約別売上高	18
海外子会社の状況	19

◆ 中期経営戦略及び2014年12月期 業績予想

中期経営戦略	21
[連結]14.12Eの業績予想	25
[連結]14.12Eの配当予想	26

◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております

2014年12月期 第3四半期 決算の概況

2013年度より決算期を3月から12月に変更しております

経過期間となる2013年度決算連結対象

- 3月決算のサイバネットシステム（個別） : 2013年4月～12月
- 12月決算の海外子会社 : 2013年1月～12月

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

連結対象子会社の範囲について

CYBERNET

当期より、海外販売子会社のCYBERNET SYSTEMS KOREA CO.,LTD.を連結対象としております。

正式社名	: 사이버넷시스템즈코리아(주) (サイバネットシステム코리아株式会社)
本社所在地	: 大韓民国 ソウル特別市
設立年月	: 2012年3月
代表者	: CEO & President 古井 佐土志
従業員	: 5名(2014年9月30日現在)
事業内容	: CAEソフトウェアの販売、技術サポート及び 受託解析・コンサルティング等のエンジニアリング サービスの提供
主力製品	: 制御系システム (MapleSim) 、数式処理システム (Maple)

※他の連結対象子会社につきましては、28ページをご参照ください。

連結対象子会社の範囲について

CYBERNET

当期より、海外販売子会社のCYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.を連結対象としております。

正式社名	: 思渤科技股份有限公司 (サイバネットシステム台湾株式会社)
本社所在地	: 台湾 新竹市
設立年月	: 2008年7月
代表者	: 董事長 三平 久悦 総経理 Arnie Cheng
従業員	: 25名(2014年9月30日現在)
事業内容	: 光学系、電気・電子系を中心に制御系、数式処理系等のCAEソリューションサービスを展開
主力製品	: 光学系ソフトウェア、制御系システム (MapleSim)、他

※他の連結対象子会社につきましては、28ページをご参照ください。

決算期(事業年度の末日)の変更について

- ◆ 当社は、2013年度より決算期を3月から12月に変更いたしました。これに伴い、2013年12月期第3四半期連結財務諸表を作成しておりません。
- ◆ 本資料内の**調整後13.12/3Q累計**とは、14.12/3Q累計実績に対して、同じ条件で比較を行うため、**比較対象期間**を同じ期間に置き換えて算出した数値となります。

■ 調整後13.12/3Q累計

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2013年 1~3月	2013年 4~6月	2013年 7~9月	2013年 10~12月
1Q	2Q	3Q	4Q
1Q	2Q	3Q	4Q



比較対象期間が同じ

■ 14.12/3Q累計(2014年12月期)

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社

2014年 1~3月	2014年 4~6月	2014年 7~9月	2014年 10~12月
1Q	2Q	3Q	4Q
1Q	2Q	3Q	4Q

[連結]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/3Q累計	2013年1月～9月		調整後13.12/3Q累計			14.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	11,604	10,961	+643	10,861	+743	106.8%	11,974	▲369	96.9%
売上総利益	4,937	4,778	+159	4,661	+276	105.9%	5,315	▲377	92.9%
営業利益	488	775	▲286	603	▲114	81.0%	789	▲300	61.9%
営業利益率	4.2%	7.1%	▲2.9P	5.6%	▲1.4P		6.6%	▲2.4P	
経常利益	611	962	▲351	796	▲184	76.8%	863	▲252	70.8%
経常利益率	5.3%	8.8%	▲3.5P	7.3%	▲2.0P		7.2%	▲1.9P	
四半期純利益	235	547	▲311	408	▲172	57.8%	439	▲203	53.7%
四半期純利益率	2.0%	5.0%	▲3.0P	3.8%	▲1.8P		3.7%	▲1.7P	

※P:ポイント

※季節要因を考慮するために、2013年1月～9月の開示数値を記載しております。

2013年1月～9月実績は、3月決算であったサイバネットシステムは2013年1月～9月、12月決算の海外子会社は2012年10月～2013年6月を連結対象期間とした数値となります。

※調整後13.12/3Q累計は、比較対象期間を合わせるため、海外子会社の対象期間を2013年1月～9月に調整した数値となります。(前頁参照)

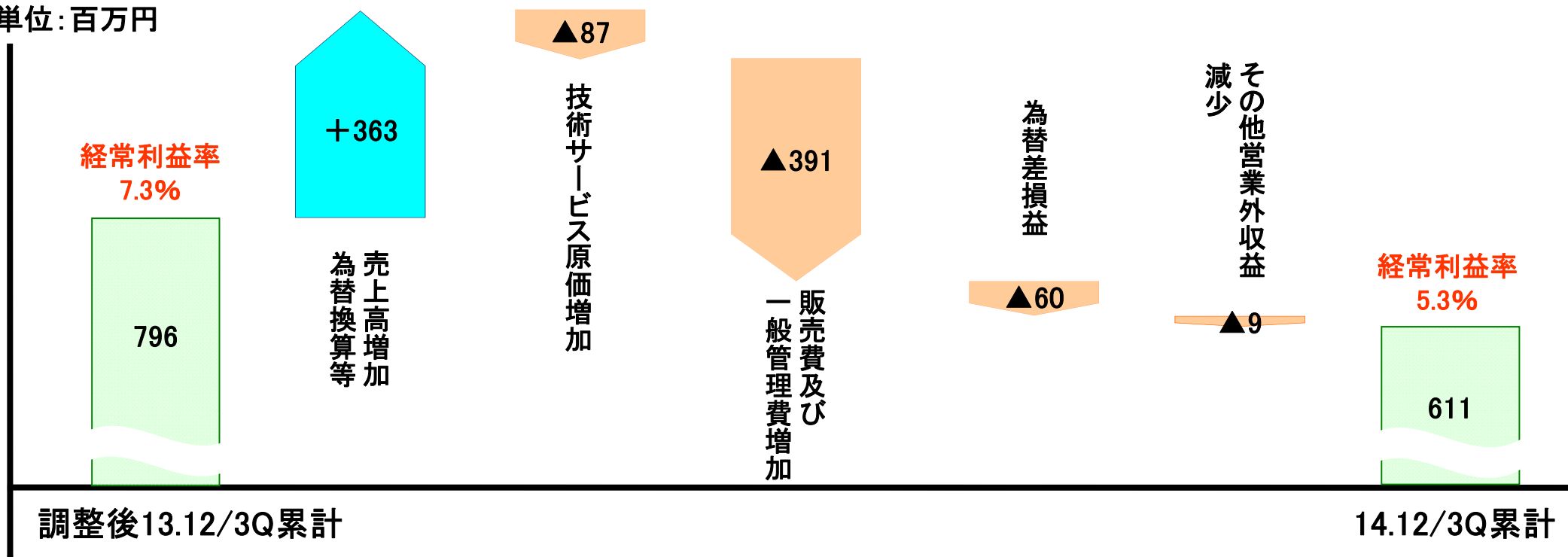
◆ 業績の概況

調整後13.12/3Q累計と比較すると、14.12/3Q累計の業績については、主力の構造解析系ソフトウェアが機械製造業界を中心として好調に推移し、可視化系分野においても教育機関から新規大型案件を受注いたしました。海外子会社においては、北米の開発子会社が好調に推移したこともあり、売上高は前年同期を上回りました。しかし、利益面においては、大型案件の原価率が高かったことや海外子会社において人員の採用が進んだことによる人件費の増加、円安による為替換算の影響に加え、当第2四半期において、エレクトロニクス系分野の代理店契約解約に伴う特別損失があったため、営業利益、経常利益、四半期純利益は前年同期を下回りました。

[連結] 経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)

CYBERNET

単位: 百万円



◆ 経常利益の前期比増減要因

商品利益は、主力の構造解析系ソフトウェアが機械製造業界を中心として好調に推移したこと及び北米の海外子会社の売上高の増加や円安による為替換算の影響等により、増益となっております。

営業利益は、海外子会社の人件費の増加、新規連結対象とした子会社の経費算入及び円安による為替換算の影響等により、前同差114百万円の減益となっております。

経常利益は、為替差益の減少等により、前同差184百万円の減益となっております。

[連結]貸借対照表

CYBERNET

(単位:百万円)

	13.12	14.12/3Q	前期末差
流動資産	14,049	13,445	▲ 604
現金及び預金	4,040	3,061	▲ 978 ①
受取手形及び売掛金	3,225	2,908	▲ 317
有価証券	2,302	3,009	707 ②
短期貸付金	3,081	3,035	▲ 46
その他	1,400	1,430	30
固定資産	5,007	5,295	288
有形固定資産	332	362	29
無形固定資産	3,617	3,331	▲ 285 ③
投資その他の資産	1,057	1,601	544 ②
資産合計	19,056	18,740	▲ 316
流動負債	4,397	4,235	▲ 161
買掛金	971	1,067	95
未払費用	926	382	▲ 543
前受金	1,891	1,946	55
賞与引当金	298	229	▲ 68
その他	309	608	298
固定負債	834	888	53
退職給付に係る負債	802	855	52
その他	31	32	0
負債合計	5,231	5,123	▲ 107
純資産合計	13,825	13,617	▲ 208 ④
負債純資産合計	19,056	18,740	▲ 316

主な増減要因

- ①現金及び預金（前期末差 ▲978百万円）
資金運用のための社債純購入額▲1,209百万円により減少しております。
- ②有価証券（前期末差 707百万円）
投資その他の資産（前期末差 544百万円）
社債の新規購入500百万円、1年超社債の新規購入1,809百万円、海外子会社長期定期預金196百万円、債券の償還▲1,100百万円及び長期から短期への振替1,319百万円により増加しております。
- ③のれん（前期末差 ▲308百万円）
償却▲273百万円及び為替換算▲34百万円により減少しております。
- ④純資産合計（前期末差 ▲208百万円）
剰余金の配当▲336百万円、為替換算調整勘定の減少▲47百万円及び新規連結▲120百万円により減少しております。

[連結] キャッシュ・フロー

CYBERNET

(単位: 百万円)

	14.12/3Q 累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,028
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1,888
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 335
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 17
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,213
現金及び現金同等物の期首残高	4,042
連結範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増加額	135
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,963

◆ 主な増減要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー
債権債務の増減等ありますが、主に税金等調整前利益の増加によりプラスとなっております。
- 投資活動によるキャッシュ・フロー
主に資金運用のための投資有価証券の取得による支出によりマイナスとなっております。
- 財務活動によるキャッシュ・フロー
配当金の支払額によりマイナスとなっております。

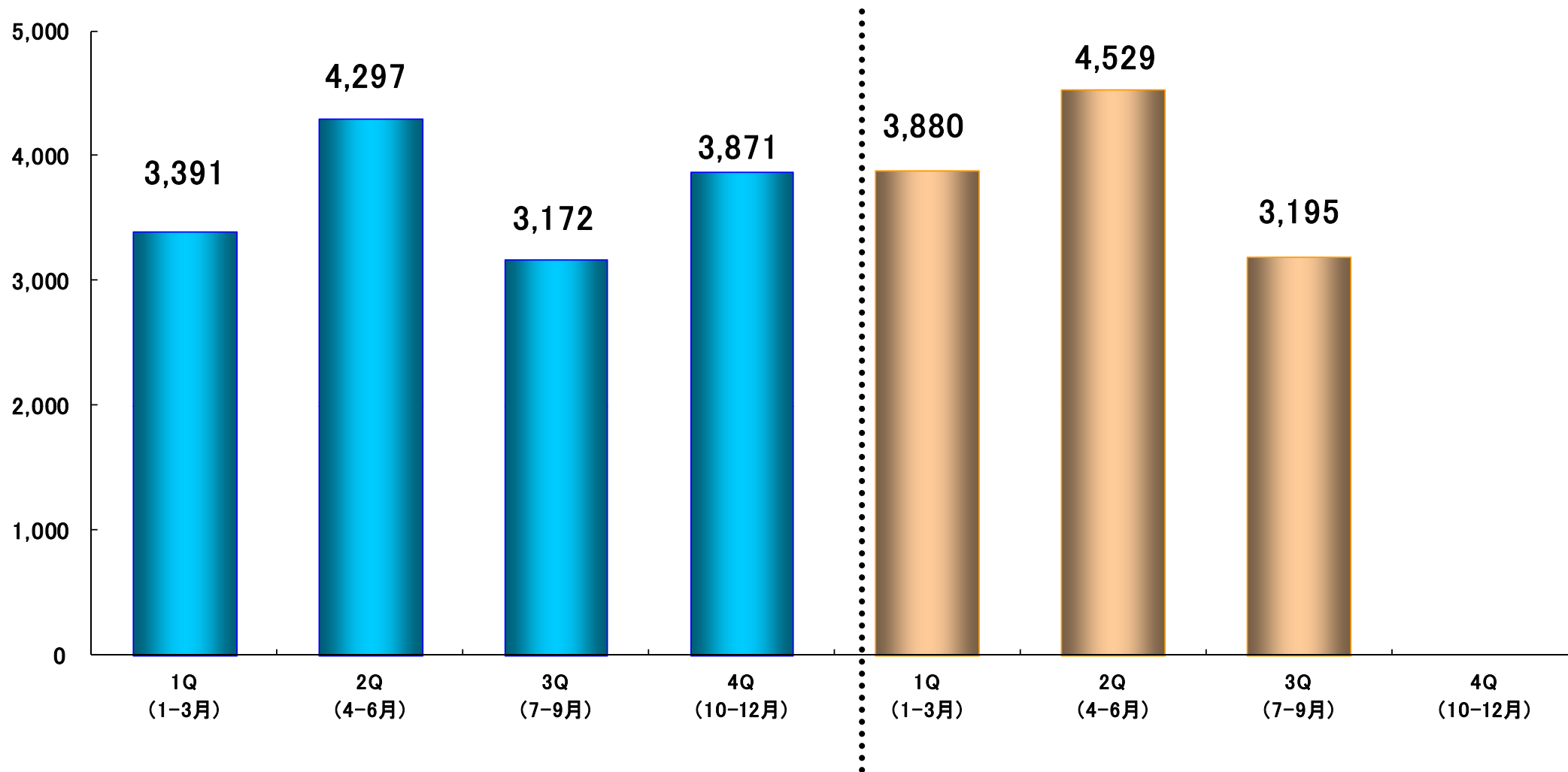
[連結]四半期売上高の推移

CYBERNET

単位:百万円

調整後13.12

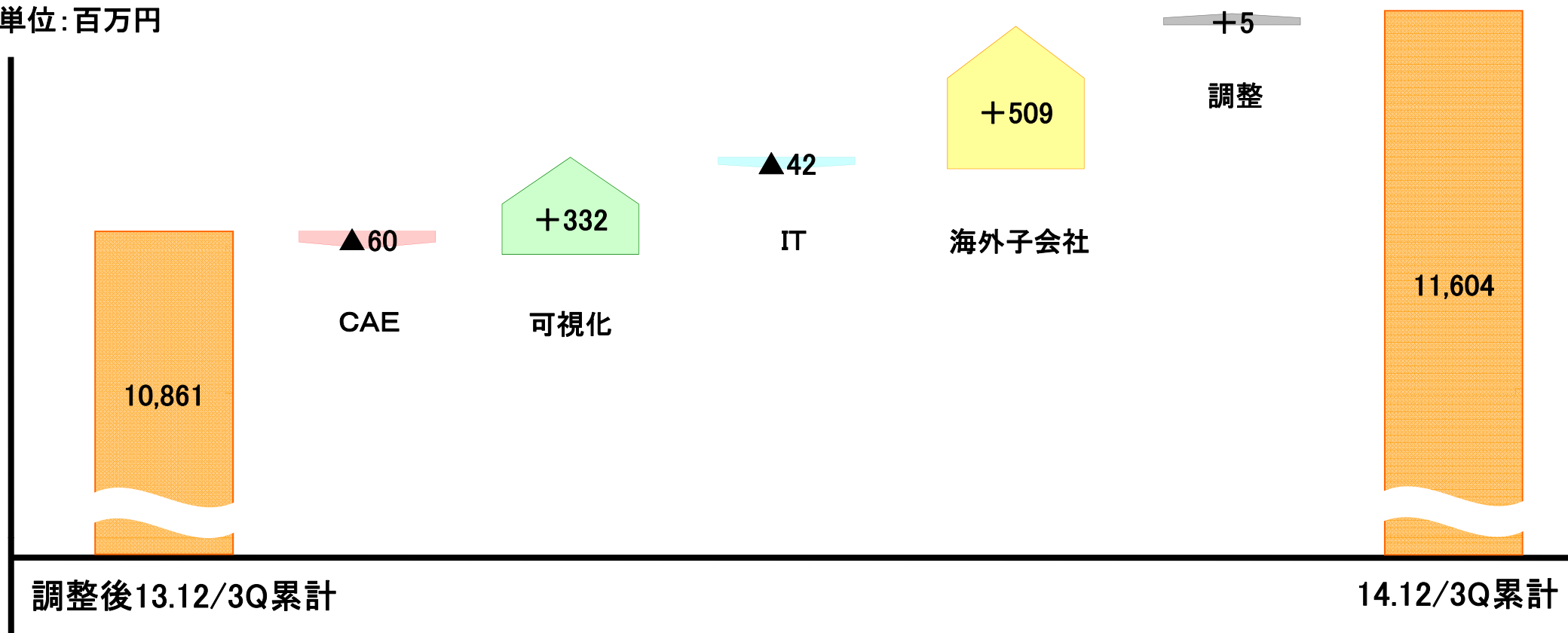
14.12



[連結]事業別売上高の増減要因(調整後前年同期比較)

CYBERNET

単位:百万円

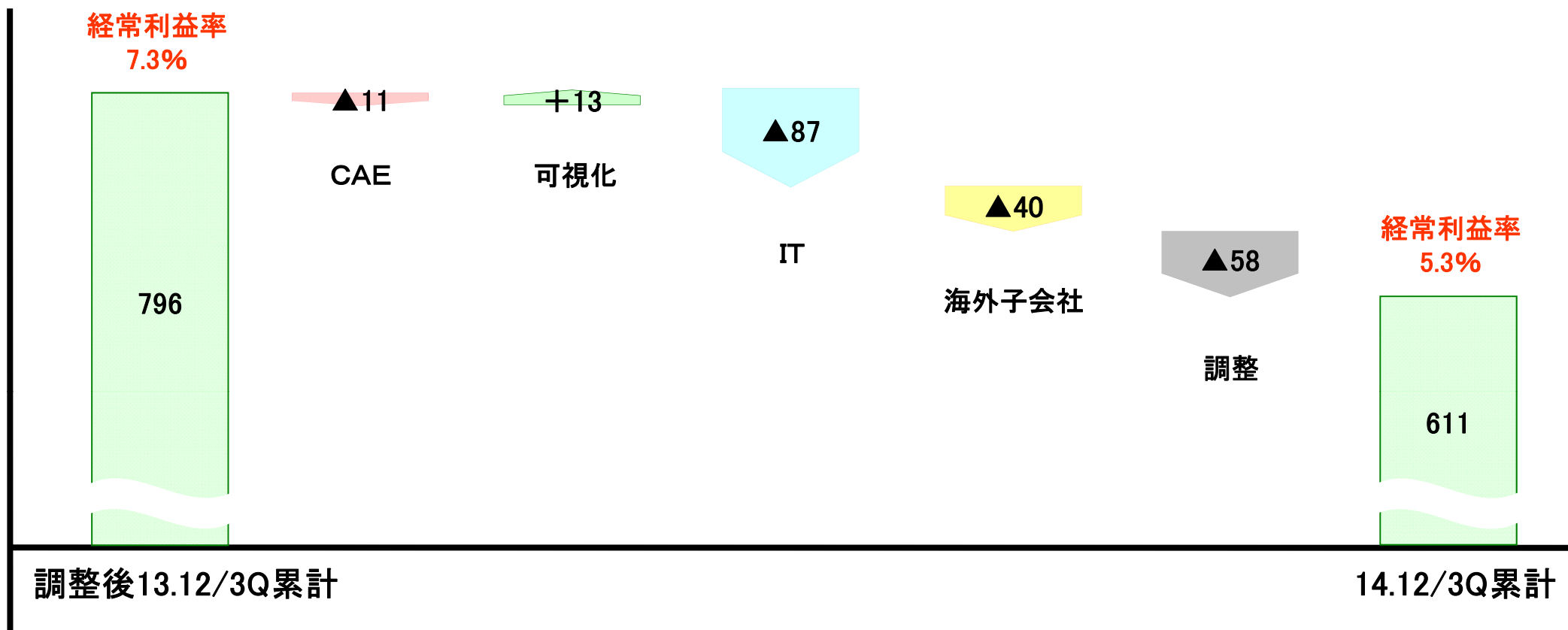


- 注) 上記数値は、調整後の前年同期売上高に対する事業別の増減額となります。また、各事業の分類は以下となります。
- ・ CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。(可視化系分野除く)
 - ・ 可視化とは、個別における可視化系分野となります。
 - ・ ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
 - ・ 海外子会社とは、連結対象子会社(欧米の開発・販売子会社3社、アジア販売子会社3社)の合計数値となります。
 - ・ 調整とは、連結調整となります。

[連結]事業別経常利益の増減要因(調整後前年同期比較)

CYBERNET

単位:百万円



注) 上記数値は、調整後の前期経常利益に対する事業別の増減額となります。
各事業の分類は前ページと同様となります。

[個別]ソリューション別の概況

CAEソリューションサービス

機 械 系	構造解析系ソフトウェアは、電機業界等多くの企業が車載へシフトしていることや案件の大型化もあり、保守契約の更新が堅調に推移となったのに加え、機械製造業界において新規ライセンス販売が好調に推移。エンジニアリングサービスは、大手建設業者から大型案件を受注するなど好調に推移。
光 学 ・ 照 明 系	照明設計解析ソフトウェアは、自動車業界での採用が広がり新規ライセンス販売が好調に推移。光学設計解析ソフトウェアは、デジカメ・交換カメラの市場の縮小等より、新規ライセンス販売が低調に推移。フォトンクスデバイスソフトウェアは、新規ライセンス販売、保守契約の更新が低調に推移。光学測定機器ビジネスの入れ替えに伴い、売上高は減少推移。
エレクトロニクス系	当第3四半期から新たに開始した電子回路基盤設計ソリューションは、立ち上げ段階のため低調に推移。PCB(プリント基板)分野のエンジニアリングサービスは、電機業界を中心に低調に推移。
数 値 ・ 制 御 系	複合領域物理モデルシミュレータは、新規ライセンス販売、保守契約の更新が好調に推移。エンジニアリングサービスは、大手自動車メーカーを中心に好調に推移。
新規及びその他	3次元モデラーや公差解析ツールは、新規ライセンス販売、保守契約の更新が好調に推移。イノベーション支援ソフトウェアは、保守契約の更新が好調に推移。
可 視 化 系	大規模可視化装置及びシステム導入の大型案件により、好調に推移。AR(Augmented Reality: 拡張現実)ビジネスは、新規ライセンス販売が好調に推移。

ITソリューションサービス

セキュリティ関連ソリューションは、クラウド関連のセキュリティ強化の需要拡大などにより保守契約の更新が好調に推移。ディスク暗号化ソフトウェアは、端末入れ替え商談が一段落し、新規ライセンス販売が低調に推移。

[個別]応用分野別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/3Q		14.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
機械系	1,157	44.1%	1,087	46.9%	▲ 70	93.9%
光学・照明系	465	17.7%	454	19.6%	▲ 10	97.7%
エレクトロニクス系	266	10.1%	65	2.8%	▲ 201	24.5%
数値・制御系	76	2.9%	113	4.9%	+ 36	147.6%
新規及びその他	120	4.6%	153	6.6%	+ 32	127.3%
可視化系	180	6.9%	99	4.3%	▲ 80	55.4%
ITソリューション	357	13.6%	343	14.8%	▲ 14	95.9%
合計	2,625	100.0%	2,317	100.0%	▲ 307	88.3%

<第3四半期累計期間>

(単位:百万円)

	調整後13.12/3Q累計		14.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
機械系	3,865	41.1%	3,998	41.5%	+ 133	103.5%
光学・照明系	2,305	24.5%	2,150	22.3%	▲ 154	93.3%
エレクトロニクス系	835	8.9%	709	7.4%	▲ 126	84.9%
数値・制御系	328	3.5%	392	4.1%	+ 64	119.5%
新規及びその他	472	5.0%	501	5.2%	+ 29	106.2%
可視化系	437	4.6%	763	7.9%	+ 326	174.6%
ITソリューション	1,166	12.4%	1,124	11.7%	▲ 42	96.4%
合計	9,410	100.0%	9,639	100.0%	+ 229	102.4%

[個別]業種別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/3Q		14.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	965	36.8%	738	31.9%	▲ 227	76.5%
機械・精密機器	382	14.6%	363	15.7%	▲ 19	95.0%
輸送用機器	215	8.2%	323	14.0%	+ 108	150.1%
その他製造業	315	12.0%	294	12.7%	▲ 21	93.3%
教育・官公庁	287	11.0%	185	8.0%	▲ 102	64.4%
情報・通信	132	5.0%	86	3.7%	▲ 45	65.3%
その他	325	12.4%	325	14.1%	+ 0	100.0%
合計	2,625	100.0%	2,317	100.0%	▲ 307	88.3%

<第3四半期累計期間>

(単位:百万円)

	調整後13.12/3Q累計		14.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	3,531	37.5%	3,283	34.1%	▲ 247	93.0%
機械・精密機器	1,371	14.6%	1,492	15.5%	+ 120	108.8%
輸送用機器	966	10.3%	1,117	11.6%	+ 150	115.6%
その他製造業	1,057	11.2%	1,034	10.7%	▲ 22	97.8%
教育・官公庁	1,016	10.8%	1,245	12.9%	+ 229	122.6%
情報・通信	524	5.6%	421	4.4%	▲ 103	80.3%
その他	943	10.0%	1,044	10.8%	+ 101	110.8%
合計	9,410	100.0%	9,639	100.0%	+ 229	102.4%

[個別]ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第3四半期>

(単位:百万円)

	調整後13.12/3Q		14.12/3Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,056	45.6%	902	43.8%	▲ 153	85.4%
更新契約	1,261	54.4%	1,160	56.2%	▲ 101	92.0%
合計	2,318	100.0%	2,063	100.0%	▲ 255	89.0%

<第3四半期累計期間>

(単位:百万円)

	調整後13.12/3Q累計		14.12/3Q累計			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	3,185	37.6%	3,235	37.7%	+ 50	101.6%
更新契約	5,290	62.4%	5,340	62.3%	+ 49	100.9%
合計	8,476	100.0%	8,575	100.0%	+ 99	101.2%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

海外子会社の状況

CYBERNET

開発・販売子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	120.1%	95.5%	119.5%
売上前年比 (円ベース)	121.2%	107.0%	129.0%
状況	売上が堅調に推移し、特に複合領域物理モデルシミュレータの売上がアジア地域で伸長したほか、欧州地域の直販体制効果により順調に推移いたしました。	汎用型最適設計支援ツールの販売が、北米の立ち上げの遅れに加えアジア特に主力の日本の低迷により、低調に推移いたしました。	3次元公差解析マネジメントツール及び幾何公差設計ツールの保守販売が好調に推移し、特にアジア地域で伸長いたしました。

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS KOREA CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.
	中国	韓国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	69.8%	当期より連結対象	当期より連結対象
売上前年比 (円ベース)	75.7%		
状況	前期より販売開始した当社開発の光学測定器ビジネスの立ち上がりが遅れており、低調に推移いたしました。	韓国大手企業向けに、複合領域物理モデルシミュレータ及び数式処理ソフトウェアの販売ビジネスに引き続き注力しておりますが、立ち上がりが遅れています。	台湾において代理店ビジネスを展開しており、特に光学ビジネスが順調に推移いたしました。

中期経営戦略及び2014年12月期 業績予想

企業ビジョン: First Contact Company ~お客様・パートナーが、最初に相談する企業でありたい~

経営戦略

1. 新しい価値を持つ当社独自のソリューションの開発と提供
2. システムレベル(1D)・シミュレーション市場の創造と拡大
3. 顧客との深いコミュニケーション機会の創出により、多様なニーズの把握とその対応強化
4. 当社グループ製品及びソリューションの海外展開の加速化



重点施策

- ① コ・シミュレーション環境の整備によるマルチドメインソリューションの加速
- ② MapleSimのグローバル市場への浸透加速化
- ③ 自動車業界にフォーカスした多面的ソリューションビジネスの拡張
- ④ 販売代理店及び協業会社とのパートナーシップ強化

システムレベル(1D)・シミュレーションとは

CYBERNET

新製品開発の上流段階において、新製品に求められる価値や機能といった情報だけで、全体を検証し、新製品の品質向上、開発期間の短縮を図る手法

最上流

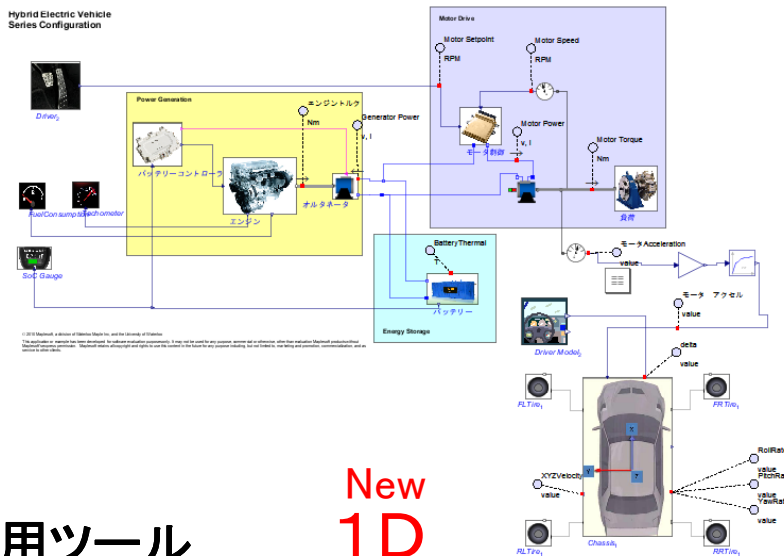
下流

概念設計

新製品等の仕様やコンセプトを決める工程

詳細設計

各機能毎、個別に詳細設計し、検証する工程

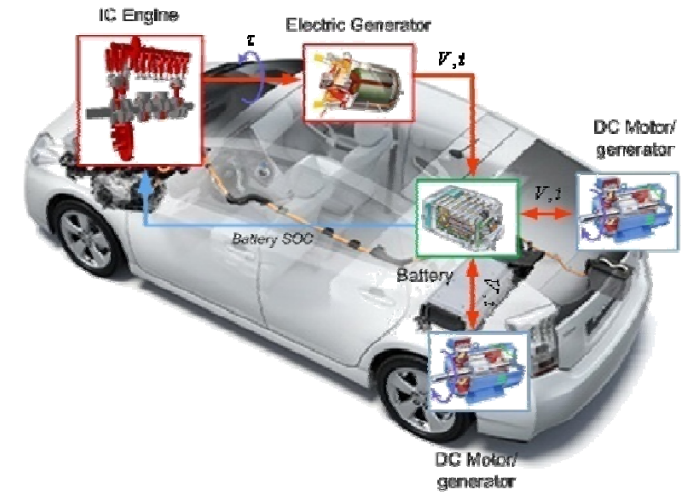


使用ツール

New
1D

MapleSim

連携

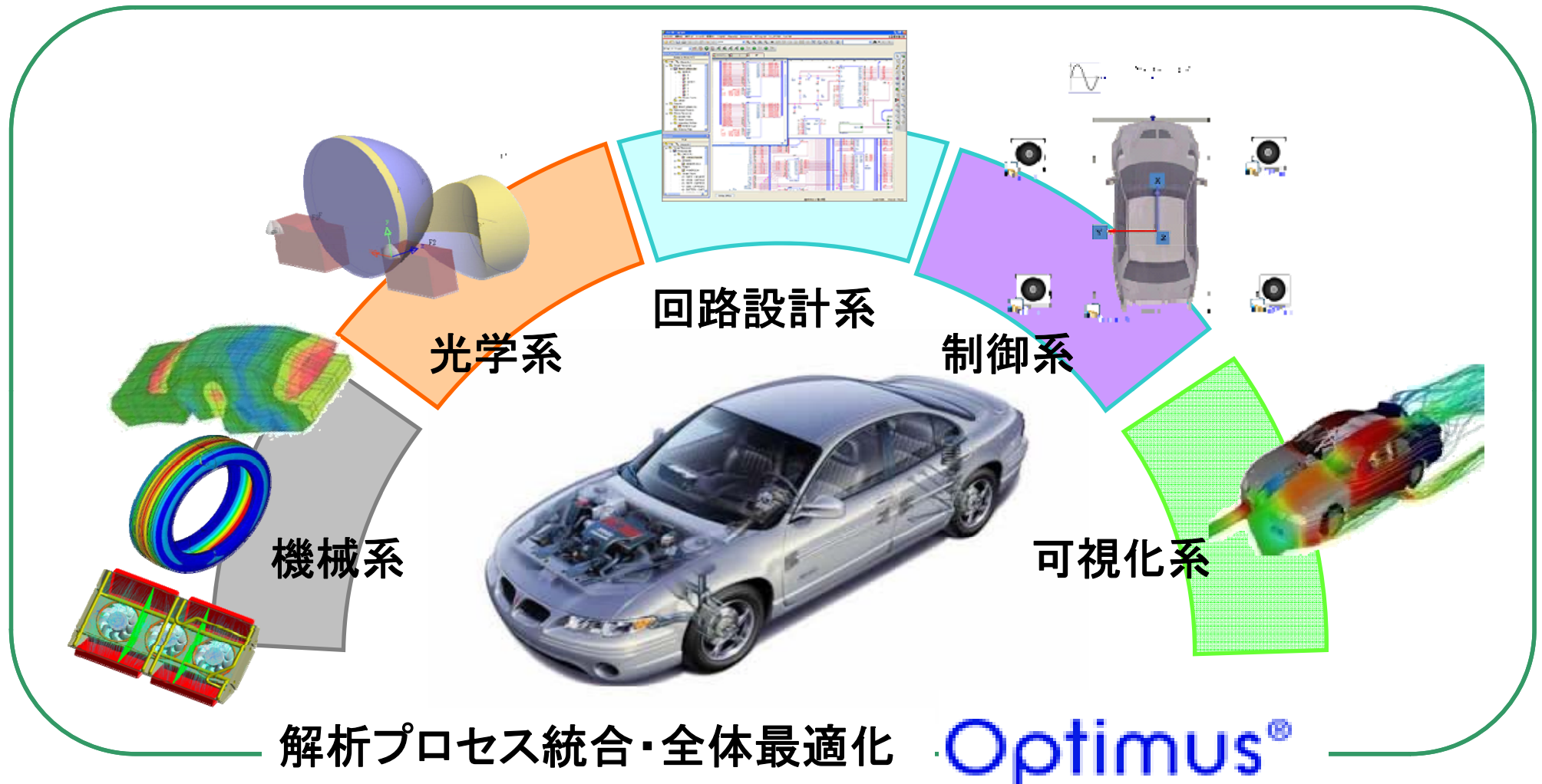


3 D C A D
3 D C A E

マルチドメインソリューションとは

CYBERNET

個別の領域ではなく、複数の領域にまたがる様々な現象を同時、または連続的に解析・シミュレーションすること



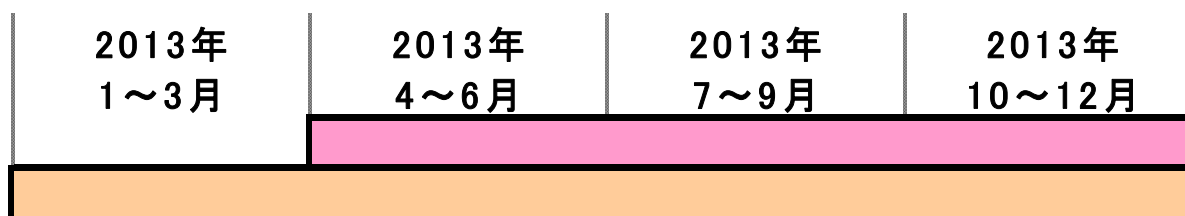
決算期(事業年度の末日)の変更について

CYBERNET

- ◆ 本資料内の調整後13.12とは、2014年度通期業績に対して、同じ条件で比較を行うため、比較対象期間を同じ期間に置き換えて算出した数値となります。

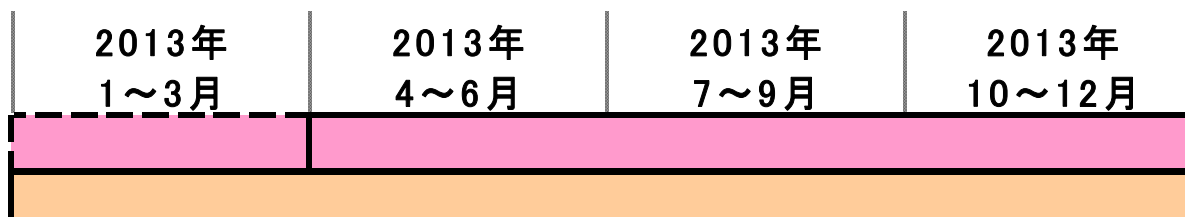
■ 13.12(2013年12月期)

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社



■ 調整後13.12

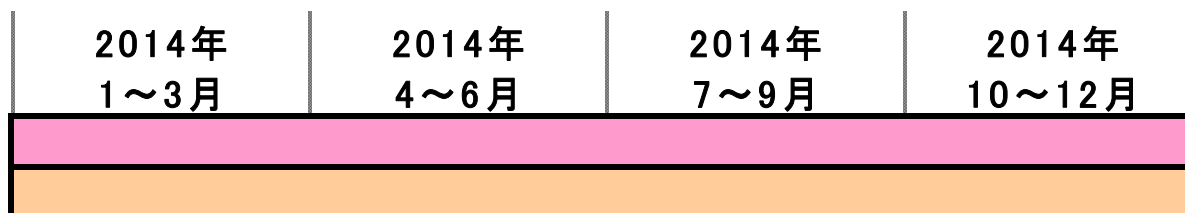
サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社



比較対象期間が同じ

■ 14.12(2014年12月期)

サイバネットシステム(個別)
海外連結対象子会社



[連結]14.12Eの業績予想

CYBERNET

(単位:百万円)

	通期			
	14.12E 予想	調整後 13.12	前期差	前期比
売上高	16,000	14,732	+1,267	108.6%
売上総利益	7,152	6,667	+485	107.3%
売上総利益率	44.7%	45.3%	▲0.6P	
営業利益	1,000	785	+214	127.2%
営業利益率	6.3%	5.3%	+1.0P	
経常利益	1,100	1,031	+68	106.6%
経常利益率	6.9%	7.0%	▲0.1P	
当期純利益	600	541	+58	110.9%
当期純利益率	3.8%	3.7%	+0.1P	

業績予想について

※P:ポイント

14.12の期初業績予想における為替レートは104円/USDを想定したものであります。

[連結]14.12Eの配当予想

CYBERNET

(単位:円)

	13.12	14.12E		
	合計(実績)	第2四半期末(実績) 基準日(2014年6月30日)	期末(予想) 基準日(2014年12月31日)	合計(予想)
1株当たり配当額	10.40	5.60	5.60	11.20
1株当たり当期純利益	10.78	11.59	—	19.26
配当性向	96.5%	48.3%	—	58.2%
(参考)純資産配当率	2.4%	1.3%	—	2.5%

当社は、2013年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。そのため、上記の13.12(2013年12月期)の数値は、2013年12月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり配当額及び1株当たり当期純利益を算定しております。



参考資料

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET

会社概況(2014年9月30日現在)

CYBERNET

- ◆ 名称 : サイバネットシステム株式会社 (東証第一部 4312)
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ 本社 : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ 拠点 : 西日本支社(大阪)、中部支社(名古屋)
- ◆ 設立 : 1985年4月17日
- ◆ 資本金 : 995百万円
- ◆ 社員数 : 連結 567名
個別 348名
- ◆ 事業内容 : CAEソリューション及びITソリューションサービスの提供、
各種コンサルティングの提供
- ◆ 子会社 : 連結 WATERLOO MAPLE INC. (カナダ)
Noesis Solutions NV (ベルギー)
CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO., LTD. (中国)
Sigmetrix, L. L. C. (米国)
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC. (特定目的会社)
Cybernet Systems Holdings U. S. Inc. (特定目的会社)
CYBERNET SYSTEMS KOREA CO., LTD. (韓国)
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO., LTD. (台湾)

CAEとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験すること。

[個別]業績の概況

CYBERNET

(単位:百万円)

	14.12/3Q累計	調整後13.12/3Q累計			14.12/3Q累計		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	9,639	9,410	+229	102.4%	10,021	▲ 381	96.2%
売上総利益	3,951	3,989	▲ 37	99.1%	4,170	▲ 219	94.7%
営業利益	1,020	1,154	▲ 134	88.4%	1,173	▲ 153	87.0%
営業利益率	10.6%	12.3%	▲ 1.7P		11.7%	▲ 1.1P	
経常利益	1,070	1,286	▲ 216	83.2%	1,186	▲ 115	90.2%
経常利益率	11.1%	13.7%	▲ 2.6P		11.8%	▲ 0.7P	
四半期純利益	615	791	▲ 176	77.8%	732	▲ 116	84.1%
四半期純利益率	6.4%	8.4%	▲ 2.0P		7.3%	▲ 0.9P	

※P:ポイント

[個別]14.12Eの業績予想

(単位:百万円)

	通期			
	14.12E 予想	調整後 13.12	前期差	前期比
売上高	12,800	11,981	+818	106.8%
売上総利益	5,293	4,978	+315	106.3%
売上総利益率	41.4%	41.5%	▲0.1P	
営業利益	1,276	1,049	+226	121.6%
営業利益率	10.0%	8.8%	+1.2P	
経常利益	1,293	1,207	+85	107.1%
経常利益率	10.1%	10.1%	+0.0P	
当期純利益	799	725	+74	110.2%
当期純利益率	6.2%	6.1%	+0.1P	

業績予想について

※P:ポイント

14.12の期初業績予想における為替レートは104円/USDを想定したものであります。

■ 広報室

住 所	〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3
TEL	03-5297-3066
FAX	03-5297-3609
E-MAIL	irquery@cybernet.co.jp
Webサイト	http://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。

本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。

記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。

投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。
CYBERNET